

環境にやさしい事業運営

■地域の人びとに愛され、親しまれる水源の森・佐布里池

佐布里池は、知多半島のほぼ中央、愛知用水水路の幹線沿いにある、自然の丘陵地帯につくられた人工の調整池です。

県営水道では、ここをみなさんの生活にうるおいを与える、緑の安らぎの場として育てるとともに、きれいな水を送り続けるための水保全を行っています。



水源の森・佐布里池（平成23年9月撮影）

■温室効果ガスの排出削減に努めています。

浄水場などの設備は、省エネルギーに配慮した設備を導入するとともに、太陽光発電により、温室効果ガス（二酸化炭素など）の削減に努めています。

■廃棄物の有効利用に努めています。

浄水場で発生した汚泥などの廃棄物の有効利用に努めています。

また、佐布里池に隣接する「水の生活館」は、水の不思議さや大切さを「見て、聞いて、触れて」体験できる施設です。みなさんも水に関するいろんな体験をして見ませんか！



水の生活館

知多市佐布里池脇48-1
TEL 0562-55-6531
■入館料 無料
■開館時間 午前10時～午後4時（但し、佐布里池梅まつり期間中を除く10月1日から翌年2月末までは午前10時から午後3時まで。）
■休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）及び年末年始（12月28日～1月4日）
※水道週間（6月1日～7日）・佐布里池梅まつりの期間中の月曜日は開館します。



太陽光発電設備（尾張東部浄水場）

ご理解ください、県営水道

Q&A

Q1

なぜダムをつくらねばならないのですか。

水道は食事、洗濯、トイレなど私たちの暮らしに欠かせないものです。必要な時に必要なだけ水道の水を使うことができるように降った雨をダムに貯めています。でも雨が降らないとダムの水が少なくなり、節水や断水になることもあります。最近、雨が降らない日が長くつづくことがよくありますので、ダムに水が貯まりにくくなっています。そこで雨が降らない時でも安心して水が使えるように降った雨を貯めておくためのダムを作る必要があります。



水の量を調整

Q2

水が、水源地から家庭に届くまで、どのくらいかかりますか。

A2

ところによって異なりますが、尾張地域の場合でみると、岩屋ダムから犬山浄水場までは、およそ15時間ぐらいで、浄水場から家庭まで遠いところも近いところもありますが、平均して30時間ぐらいかかります。

Q3

水道水には色々な物質が含まれていると聞きましたが、県営水道の水は大丈夫ですか。

A3

水道水に必要な条件は、衛生的で安全であること、使用するときには不快感や不安感がないことなどですが、それを満たすために水質基準が定められていますので、定期的に水質検査を行い、基準に適合していることを確認しています。

また、厚生労働省の「おいしい水研究会」の決めた“おいしい水の要件”にも適合していますので、安心しておいしく飲んでいただけたらと思います。



Q4

現在県営水道の1日の給水量は、どのくらいですか。

A4

平成25年度の年間給水量は、約4億2千万m³となっており、平均すると毎日約115万m³の水を送ったこととなりますが、水の使用量が増加する夏には1日最高約134万m³を送水しました。また、平成26年度は、年間約4億2千6百万m³、1日平均約117万m³を給水する予定です。

Q5

貴重な水を大切に使用するためには、どのようなことに気をつけたらよいのですか。

A5

家庭では次のようなことを心がけていただく大切な水を上手にお使いいただけます。
①水を出しっぱなしにせず、蛇口をこまめに開け閉めする。
②お風呂の残り湯を洗濯や掃除などに再利用する。
③洗濯をするときは、ためすぎをする。
④ホースで流し洗いせず、バケツに水をくんで洗車する。
⑤菌をみがくときは蛇口を止めてコップですすぐ。
⑥蛇口に節水コマを取り付けたり、節水型の洗濯機や便器を使用する。
⑦食器を洗う時は、油などの汚れは、紙や布で汚れを落としてから水洗いをする。

